

浮体構造物係留鎖における定量的摩耗量推定手法に関する研究

武内, 崇晃

<https://doi.org/10.15017/4060150>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	武内 崇晃
論 文 名	浮体構造物係留鎖における定量的摩耗量推定手法に関する研究
論文調査委員	主 査 九州大学 教授 宇都宮 智昭 副 査 九州大学 教授 後藤 浩二 副 査 九州大学 教授 胡 長洪

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、浮体構造物係留鎖の定量的摩耗量推定手法の提案を目的とし、これを材料試験レベルでの物性値と浮体一係留系モデルにおける数値解析に基づいて汎用性のある摩耗量推定手法を構築し、本提案手法による予測値を実測値と比較することでその精度を検証し、その有用性を示したものであり、海洋工学上寄与するところが大きい。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。